

第9回

東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点

SDGS-IDセミナー

社会にインパクトある研究_C3感染症超克 共催

「感染症」×「工学」

環境疫学の新展開

2022年1月28日（金） 12:00-13:30

【 Zoom 】 参加無料

参加登録

<https://forms.gle/29opXG7B8GbDt5d79>

登録締切：1月27日（木）15:00迄



<プログラム>	12:00-12:05	オープニング
	12:05-12:25	講演 1
	12:25-12:45	講演 2
	12:45-13:20	質疑・総合討議
	13:20-13:30	ラップアップ



講演 1 「下水疫学による新型コロナウイルス感染症の流行把握と変異株の早期検知」

北島正章（北海道大学大学院工学研究院 准教授）

下水中の新型コロナウイルスを分析することで、集団レベルの感染状況を把握する下水疫学調査の実用化が期待されている。本講演では、我々が開発した下水中ウイルスRNAの高感度検出技術を用いた都市下水や東京五輪・パラ選手村などでの調査に基づく下水疫学による流行把握と変異株早期検知の研究成果について紹介する。



講演 2 「下水調査結果に基づく新型コロナウイルス感染陽性者数 1 週間予測」

佐野大輔（東北大学大学院工学研究科 教授）

新型コロナウイルス感染者の一部は排泄物中にウイルスを排出していることから、感染者数が増加してくると、トイレからの汚水を含む下水中から新型コロナウイルス遺伝子を検出することが可能となる。本講演では、下水中新型コロナウイルス検出結果を用いて、感染陽性者数を予測する機械学習モデルと、予測情報の発信方法について紹介する。



東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点（SDGS-ID）

■ 拠点Web : <http://www.sdgs-id.med.tohoku.ac.jp>

■ お問い合わせ : sdgs-id@med.tohoku.ac.jp



東北大学 社会にインパクトある研究 -C3感染症超克

http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/contents/c3_infectious_disease.html